

■ 略 歴 ■

監訳・翻訳者：金山喜一（かなやま・きいち）、DVM, PhD

昭和31年12月、東京都生まれ。昭和54年3月、日本大学農獣医学部獣医学科卒業（在学中、農林水産省獣医系技術職員採用試験（現：国家I種相当職）に合格。任官を辞退し、同年4月、日本大学副手）。その後、助手、専任講師、助教授を経て平成11年4月、教授。この間、平成7年まで日本大学付属動物病院医局員（外来診療担当）を兼務。現在まで、多くの学会・研究会などの役員、獣医事審議会（農林水産省）専門委員、日本大学獣医学科学科主任、私立獣医科大学協会幹事などを歴任。著書、学術論文、翻訳など多数（「犬と猫の呼吸器疾患」（監訳）（インターズー刊）など）。専門は生殖生理学、病態生理学。

監訳・翻訳者：鯉江洋（こいえ・ひろし）、DVM, PhD

昭和39年6月、東京都生まれ。平成2年3月、日本大学農獣医学部獣医学科卒業。同年8月～平成3年9月、ドイツ・ミュンヘン大学客員研究員。平成3年より（財）鳥取県動物臨床医学研究所において研究と小動物臨床に従事。平成6年、日本大学農獣医学部助手、専任講師を経て、平成20年4月より准教授。平成23年6月より（社）神奈川県獣医師会理事。専門は病態生理学、生殖生理学。分担翻訳に「小動物の心臓病学」（インターズー刊）などがある。

翻訳者：坂井学（さかい・まなぶ）、DVM, PhD

東京都生まれ。平成9年、日本大学農獣医学部獣医学科卒業後、東京大学農学部研究生。平成15年、日本大学大学院獣医学研究科博士課程修了。日本大学生物資源科学部獣医学科の助手を経て、現在、専任講師（獣医内科学）。日本大学動物病院で一般内科および消化器科（肝胆脾）を担当。

翻訳者：三浦あかね（みうら・あかね）、DVM, MS

横浜市生まれ。日本大学大学院獣医学研究科修士課程修了。獣医師、獣医学修士。在学中、米国ワシントン州立大学に短期留学し、公式単位を取得。卒業後、動物病院勤務医を経て平成10年、横浜市神奈川区にアン・ベット・クリニックを開設、院長。常に欧米の先端獣医療を学び、日々の診療に反映させている。疾病の診断、治療、予防をトータルで捉える臨床を心がけている。翻訳に「小動物の胸部X線検査」、「小動物の腹部X線検査」（ファームプレス刊）など多数。分担翻訳も「犬と猫の心臓病学」（インターズー刊）など多数がある。

翻訳者：小久保貴史（こくぼ・たかふみ）、DVM

昭和50年6月、埼玉県生まれ。日本大学農獣医学部獣医学科卒業。企業系動物病院で複数の病院の院長、薬剤企画委員等を歴任。2012年7月から（株）コジマに移籍し、動物病院事業本部病院管理部でコジマ動物病院の管理・運営に従事している。監訳に「犬と猫の救急疾患とクリティカルケア・第2版」（インターズー刊）がある。分担翻訳に「犬と猫の心臓病学」（インターズー刊）など多数がある。

翻訳者：山田賢次（やまだ・けんじ）、DVM

平成8年、日本獣医畜産大学（現：日本獣医生命科学大学）卒業。東京大学大学院医学系研究科医学博士課程中退。マスターフーズ（現：ロイヤルカナン）、ファルマシア製薬、バイエル薬品、勤務医、分院長を経て平成18年、東京都文京区に「やまだ動物病院」を設立、院長。現在に至る。監訳に「犬と猫の救急疾患とクリティカルケア・第2版」（インターズー刊）がある。

翻訳者：長谷川正昭（はせがわ・まさあき）、DVM

昭和26年1月、千葉市生まれ。昭和48年3月、日本大学農獣医学部獣医学科卒業。勤務医を経て昭和53年、「はせがわ動物病院」を開設、院長。平成2年には海浜動物医療センターを開設、院長。平成18年、同センターを千葉市美浜区高洲に新築移転。著書など多数。分担翻訳に「犬と猫の内視鏡」（インターズー刊）などがある。

翻訳者：郷間雅之（ごうま・まさゆき）、DVM

昭和32年生まれ、横浜市出身。昭和54年、麻布獣医科大学卒業。横浜市鶴見区に1984年、現・動物医療センターの前身である「ピア動物病院」を開設、院長。横浜市獣医師会理事を歴任。平成13年より2期4年、日本動物病院福祉協会（JAHA）学術委員長。外科認定医の資格を有する。平成17年、JAHA プラスマー・アワードを受賞。分担翻訳に「犬と猫の内視鏡」（インターズー刊）などがある。

翻訳者：山岡新生（やまおか・あらお）、DVM

愛知県生まれ。平成9年、日本大学農獣医学部獣医学科を卒業。都内動物病院にて研修。平成15年、名古屋市西区の山岡獣医科病院に勤務。現在に至る。分担翻訳に「犬と猫の心臓病学」（インターズー刊）などがある。

翻訳者：小林豊和（こばやし・とよかず）、DVM, MS

東京都生まれ。平成元年、日本大学大学院獣医学研究科修士課程修了。日本獣医生命科学大学の研修生を経て、平成5年、東京都杉並区荻窪にグラース動物病院を開院、院長。分担翻訳に「酸化ストレス」（インターズー刊）などがある。

翻訳者：設楽晴美（しだら・はるみ）、BA（文学士）、DVM（獣医学士、獣医師）

東京都生まれ。早稲田大学第一文学部文芸専修卒業。卒業後は都内の大手予備校で講師として大学受験の国語を担当する。平成16年4月、日本大学生物資源科学部獣医学科に入学。平成22年3月、同学科を卒業と同時に獣医師国家試験に合格。現在は小動物臨床に従事。専門は伴侶動物の内科学と病態生理学。分担翻訳に「犬と猫の慢性腸疾患」（インターズー刊）などがある。

翻訳者：伊藤康世（いとう・やすよ）、DVM

平成19年、日本大学獣医学科卒業。同年、京都大学霊長類研究所思考言語分野教務補佐員。平成21年より小動物臨床に従事。平成22年より独立行政法人 医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター研修生。平成23年より日本大学大学院獣医学研究科在籍、現在に至る。霊長類の循環器に関する生理学および疾患に関する研究を行っている。分担翻訳に「犬と猫の慢性腸疾患」（インターズー刊）がある。

翻訳者：山海直（さんかい・ただし）、DVM, PhD

医薬基盤研究所主任研究員、滋賀医科大学客員教授、日本大学非常勤講師、日本女子大学非常勤講師、韓国国家霊長類センター客員研究員。平成元年、日本大学大学院獣医学研究科博士後期課程修了。獣医学博士。同年、国立予防衛生研究所（現：医薬基盤研究所）協力研究員。生理学、生殖生物学、発生工学的研究に従事。分担翻訳に「犬と猫の慢性腸疾患」（インターズー刊）がある。

翻訳者：竹内ひろし（たけうち・ひろし）、DVM, MS

神奈川県生まれ。昭和58年、日本大学農獣医学部畜産学科卒業後、獣医学科に編入学。昭和63年、日本大学大学院獣医学研究科修士課程修了。平成3年、動物園・水族館動物の動物輸送などを業務とする有限会社ライノを設立。代表取締役として現在に至る。分担翻訳に「犬と猫の慢性腸疾患」（インターズー刊）がある。